



# ひだか平和新聞

第6巻 第10号(通巻62号) 10月号

2006年10月15日

日高市平和委員会

事務局 日高市横手 2-3-12

tel・fax 042-982-4160

## あなたの未来

## 選ぶのはあなた

### 日高市平和委員会定例総会近づく

### 国民をだまし続ける政府

自民公明の連立政権によって強行されてきた「構造改革」で、国民の間にごんごん格差が広がっています。人間らしく生きることの保障も得られないままに非正規労働者は増え続け、長時間労働にあえいだ末に使い捨てです。医療・介護・福祉を大幅に削り取り、そのために施設から退所せざるを得なくなったり、病院を追い出されるなど行き場のなくなつた、いわゆる「介護難民」「医療難民」となつた人々が出てきています。生活保護を受けられずに餓死する人、抗議の自殺をする人もいます。

憲法が保障する生存権をも否定する冷酷な政治、それが自民党を中心とした現政府のやり方なのです。

その一方で、米軍再編計画のために私達国民の税金が三兆

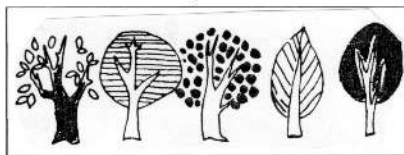


円も使われます。国民のことよりも、アメリカの先兵となることの方が大事だと思つているのでしよう。基地も大金も惜し気もなく差し出し、さらにアメリカと一体となつて海外で戦争をする国になることを目ざしています。そのためには憲法も教育基本法も邪魔だから変えてしまおう、これが日米同盟のねらいなのです。

9月末から臨時国会が始まりました。継続審議になつていた教育基本法、憲法を変えるための国民投票法案、「共謀罪」新設法案、「防衛省」設置法案など、国民の平和と安全を著しくおびやかす法案の審議が目前押しです。

### 子どもたちに平和な社会を

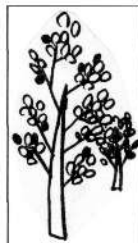
今、私達国民の一人一人がしっかりと目を見すえて政治の在り方を直視し



ないと、とんでもない世の中が到来しそうです。大人の私達には直接大きな影響がないように思えますが、私達の子どもや孫たちが人間らしく明るく平和に生きていくための社会を用意するのは、私達大人の責任です。

### 平和を願う声を結集しよう

このような緊迫した情勢の中で、今年も平和委員会の定例総会を迎える時期となりました。今年で8回目となります。



日高市平和委員会 第8回定例総会は次のような内容で行なわれます。

●日時 10月22日(日)

1時開場 1時30分開会

●場所 日高市総合福祉センター

「高麗の郷」

●内容 私達を取り巻く情勢と課題、活動方針等

記念講演として「PAC3

(地对空ミサイル) 配備で

自衛隊入間基地はどう変わる」を予定しています。

平和な国、安心できる社会を願う草の根の一人として声を上げる大人でありたい。皆様のご参加をお待ちしています。